

令和8年度 公益財団法人鹿児島観光コンベンション協会事業計画

I 事業運営方針

令和7年は、国内への訪日客数が初めて4千万人を突破した一方で、都市部でのオーバーツーリズムや、中国からの観光客の減少などの課題も顕在化しております。鹿児島においては、今後も国際定期便の運休等が懸念される中、令和9年度は西郷隆盛生誕200年・没後150年を迎えることから、それを契機とした継続的な誘客強化などに取り組むことが重要です。

このような中、令和8年度、DMOとしては、民間主体の西郷プロジェクトを推進するとともに、DMO経営企画会議を中心とした推進体制の下、令和9年度からの「第2期DMO戦略」の策定に取り組んでまいります。

また、マーケティングデータのブラッシュアップや戦略的なプロモーションの展開、インバウンド向け体験型観光メニューの充実など、効果的な誘致・受入事業に取り組んでまいります。

さらに、MICEについては、誘致に向けて開催補助を拡充するとともに、ステークホルダーと連携した積極的な誘致活動や商談会への出展を展開してまいります。

また、観光の意義・効果やDMOの活動について、市民や事業者への理解促進を図るとともに、DMO関連の別会計の導入に向けた作業を進めてまいります。

【公益目的事業】

「観光客誘致事業」では、「第2期DMO戦略」を策定するとともに、実行委員会による西郷プロジェクトを推進し、機運の醸成や誘客等に努めるほか、かごしま市観光ナビを中心としたプロモーションに取り組んでまいります。また、観光関連データを一元化・可視化したマーケティングデータの活用など、地域マーケティングの仕組づくりを、さらに強化してまいります。

「観光客受入事業」では、ワーキンググループにおいて検討した2次交通の利便性向上に向けた調整のほか、インバウンド関連として、体験型観光メニューの魅力向上や販売力強化の支援等に取り組んでまいります。

「コンベンション誘致支援事業」では、更なる誘客促進に向けて、MICE開催補助金の拡充を行うとともに、海外誘致やインセンティブツアー誘致に向けた活動を強化します。また、ユニークメニューの開発や西郷プロジェクトと連携したコンテンツづくりなど受入体制を充実するとともに、令和9年度からのMICE戦略を「第2期DMO戦略」の柱の一つに位置付けて策定いたします。

「運営基盤の確立」では、令和6年度に策定した「安定的な財源確保に向けた行動計画」に基づき、DMO関連の別会計として、西郷プロジェクトの実行委員会方式の導入や、令和9年度から実施予定のMICE関連事業での導入準備に取り組んでまいります。

「施設の管理運営等」では、令和9年1月リニューアルオープン予定の「維新ふるさと館」において利用促進イベント等を開催するほか、「鹿児島ぶらりまち歩き」での西郷プロジェクトに関連する新たなコースの設定などを進めてまいります。また、鹿児島中央駅や天文館、桜島など市内要所5か所にある観光案内所を運営し、観光客等の利便性向上を図ってまいります。

【法人会計】

「その他事業」では、引き続き理事会、評議員会、専門委員会等の開催や、関係団体との連携により円滑な事業運営を図ってまいります。

II 事業計画の概要

【公益目的事業】

1 観光客誘致事業

1-1 稼ぐ体制・仕組づくり

(1) 地域マネジメントの体制構築

① 多様な関係者と連携した推進体制の構築

- ・DMO経営企画会議の開催

ア 「第2期DMO戦略」の策定【新規】

現戦略が令和8年度までとなることから、次期戦略を策定する。

イ 経営に関する協議など

- ・ワーキンググループの開催

ア 施策及び実施手法の検討

- ・先進地合同視察【新規】

観光地アクセスの向上に向けた施策案の検討のため、受入体制ワーキンググループにおいて、先進地視察を実施する。

② 関係者が実施する観光関連事業と戦略等の整合性に関する調整

- ・マーケティングデータ（マーケティングレポート）の配信【拡充】

（拡充点）観光関連データを一元化・可視化したマーケティングデータのブラッシュアップを行う。

- ・観光CRMアプリ加盟店等へのデータに基づく支援

③ 行政（観光庁・県・市）や他のDMO等との連携

- ・インバウンド誘客等に向けた観光庁やJNTO（日本政府観光局）、DMO九州連携会議（九州観光機構主催）、県観光連盟等との連携強化
- ・九州主要都市観光協会連絡協議会での情報交換
- ・鹿児島県10市観光協会情報交換会の開催

(2) 地域マーケティングの仕組づくり

① 統計データ・観光客データの収集、分析、共有

- ・宿泊及び検索行動等の観光関連データの収集分析
- ・鹿児島市観光消費額調査の実施

② 観光CRMアプリ等によるニーズ把握、分析、共有

- ・観光CRMアプリ推進事業
- ・かごしま市観光ナビのデータの活用

(3) 持続可能な観光地づくり

① SDGsに資する観光地づくりの取組推進

- ・サステナブルツーリズムの促進

1-2 誘客促進

(1) 戦略的なプロモーションの展開

① データを活用した国内外からの誘客に繋がるプロモーションの展開

- ・かごしま市観光ナビの運用
- ・SNS（国内、台湾・香港市場向け）の運用
- ・WEBを中心に各種メディアを活用した観光プロモーションの実施

② 鹿児島ファン拡大に向けたプロモーションの推進

- ・西郷隆盛生誕200年・没後150年記念プロジェクト【新規】

西郷隆盛生誕200年・没後150年（令和9年度）を見据えた誘客等に向け、実行委員会により民間主体の取組等を推進する。

- ・都市間まつり交流（大垣市）
- ・かごしま錦江湾サマーナイト大花火大会をフックとした誘客
- ③「西のゴールデンルートアライアンス」における情報発信

(2) 観光クルーズ船の誘致・受入

- ①県・市・関係団体等と連携した観光クルーズ船の誘致・受入
 - ・鹿児島海外観光客受入協議会でのクルーズ客船受入れ、観光案内の充実
 - ・マリポートにおける交通チケット「CUTE」の実証販売【新規】
クルーズ船乗客の利便性向上のため、マリポートにおける「CUTE」の実証販売を行う。

2 観光客受入事業

2-1 魅力あるコンテンツ開発

(1) キャッシュポイント（商品）づくり、高付加価値化・差別化

- ①多様な関係者による観光商品・サービスづくり、高付加価値化・差別化
 - ・マーケティングデータを活用した多様な関係者の収益力向上に向けた支援
 - ・協会オリジナルグッズの作成
- ②体験型観光メニューの充実等
 - ・インバウンド向けコンテンツ魅力・販売力強化事業
インバウンド誘客に向け、体験型観光メニューの魅力向上や販売力強化の支援等に取り組む。

2-2 受入体制の充実

(1) 国内外の観光客の受入・案内機能の充実

- ①多言語化などインバウンド対応の充実
 - ・市と連携した観光案内板等の充実
- ②観光案内機能の充実
 - ・観光ガイドマップの制作【拡充】
(拡充点) 観光客のニーズに応じた日本語の観光ガイドマップを新たに作成し、利便性向上を図る。
 - ・接遇研修会の実施
 - ・おはら祭での観光案内
 - ・鹿児島マラソンでの観光案内
 - ・電光掲示板の運営管理
- ③受入環境整備に関する地域の取組の調整・支援
 - ・2次交通の利便性向上に向けた調整
- ④災害など非常時における観光客への情報発信
 - ・かごしま市観光ナビの運用（再掲）

2-3 観光による波及効果の拡大（広義の観光）

(1) 地域経済循環の向上

- ①地消地産の促進
 - ・観光関連事業者等に対する地消地産の促進
 - ・地消地産の促進に取り組む事業者の情報発信
- ②マイクロツーリズムの促進
 - ・観光CRMアプリ推進事業（再掲）

(2) 旅アトの消費機会の創出

- ①旅アトの観光客への情報発信
 - ・観光CRMアプリ推進事業（再掲）

3 コンベンション誘致支援事業

3-1 MICE誘致

(1) MICE誘致事業

- ①重点分野のターゲット設定による戦略的な誘致活動の展開
 - ・ステークホルダーと連携した誘致活動
 - 地元ホテル・旅行会社等観光事業者と連携した県外誘致セールスの展開
 - ・国内誘致活動
 - 大都市圏等大会事務局（東京・大阪・福岡）及び地元大会事務局（鹿児島大学等）へのセールス実施
 - ・MICE商談会出展
 - ア インセンティブ旅行商談会（VJTM）（東京）
 - イ 国際MICEエキスポ（東京）
 - ・海外誘致活動【拡充】
 - （拡充点）JNTO主催のインセンティブ旅行商談会への参加（東アジア）に加え、県観光連盟と連携した海外セールスの実施
 - ・MICE推進団体との連携【拡充】
 - ア 7都市（旭川市・秋田市・前橋市・岐阜市・姫路市・松山市・鹿児島市）情報交換会及び情報懇談会 ※令和8年度は鹿児島市が幹事
 - イ JCCB（日本コンGRESS・コンベンション・ビューロー）総会及びコンベンションビューロー部会
 - ウ 九州・沖縄地区MICE推進団体連絡会
 - エ 5都市会議（盛岡市・金沢市・静岡市・高松市・鹿児島市）
※令和8年度は鹿児島市が幹事
 - ・MICE開催予定調査及びイベント・コンベンションカレンダーの作成
 - ・インセンティブツアー誘致活動
 - ・MICE商談会用装飾品の作成【新規】
 - 商談会における効果的なPRを図るため、継続的に使用可能な商談アイテムを作成する。

(2) MICE受入事業

- ①地域資源のMICE活用促進による来訪者消費単価の向上
 - ・プログラムモニターツアーの実施
 - ・おもてなしサービス券の作成【拡充】
 - （拡充点）ナイトタイムエコノミーの振興につなげるため、既存のおもてなしサービス券に二次会向けプランを追加
 - ・連携中枢都市圏（鹿児島市・日置市・いちき串木野市・姶良市）におけるテクニカルプログラムの展開
 - ・鹿児島市のユニークベニュー開発【新規】
 - 歴史的建造物などを活用した鹿児島ならではの貴重な体験を提供できるユニークベニューの開発を進める。
 - ・西郷プロジェクト関連MICEコンテンツの開発【新規】
 - 特別感のある商品（お弁当等）をステークホルダーと共同開発
- ②社会変動等に対応できる強靱なMICE基盤の構築
 - ・MICE開催補助金【拡充】

(拡充点) MICE誘致の強化に向け、開催補助金の拡大やインセンティブ旅行補助金制度の改訂など開催補助を拡充する。

- ・シャトルバス等サポート助成金
- ・MICE参加者、主催者アンケートの回収の実施
- ・アンケート分析に基づく誘致、受入活動の推進
- ・次期戦略プランの策定【新規】

現戦略が令和8年度までとなることから、次期戦略を「第2期DMO戦略」の柱の一つに位置付けて策定する。

③機動力と柔軟性のある推進体制の整備

- ・産官学連携プロジェクト
- ・メディア及びSNS活用による情報発信
- ・MICEロゴマークの活用

4 運営基盤の確立

4-1 基盤強化プロジェクト

(1) 観光の意義・効果、DMOの役割等の理解促進

- ①観光の意義・効果、DMOの役割等の啓発
- ・DMO事業報告会・セミナーの開催
 - ・「鹿児島県の観光とコンベンション推進の集い」の開催
 - ・観光の意義・効果等の理解促進を図る機関紙の発行

(2) DMOの経営基盤の強化

①安定的な財源確保

- ・安定的な財源確保に向けた行動計画の推進【拡充】

ア DMO関連の別会計の導入

DMO関連の施策ごとに、関係する自治体や団体、民間事業者などが拠出した資金を、その施策に限って支出することを明確にするため別会計を導入する。令和8年度は

- ①実行委員会方式で実施する西郷プロジェクトへの導入
- ②MICE関連は令和9年度からの導入に向けて準備

に取り組む。

イ 観光庁等国庫補助金の活用に向けた情報収集

②求められる職員像の整理や人事評価制度の導入によるDMOの人材育成

- ・人事評価制度の運用
- ・DMO職員人材育成

(3) 観光分野のデジタル化の推進

①横断的なデジタル化の推進

- ・ワーキンググループの開催（再掲）
- ・鹿児島県ぶらりまち歩きにおけるOTAの活用
- ・かごしま市観光ナビの運用（再掲）
- ・観光CRMアプリ推進事業（再掲）※デジタルキューートの販売
- ・インバウンド向けコンテンツ魅力・販売力強化事業（再掲）

5 施設の管理運営等

(1) 維新ふるさと館管理運営事業（鹿児島市から受託）

※令和9年1月23日 リニューアルオープン予定

① 維新ふるさと館の管理

- ・施設の管理運営

② 利用促進イベント・各種歴史講座等の開催

- ・西郷プロジェクト関連事業
 - ア 歴史シンポジウム（維新体感ホール）
 - イ 西郷隆盛に関連した史跡めぐりバスツアー
 - ウ 西郷隆盛に関連した歴史講座（年3回）
 - エ 西郷隆盛を偲ぶ書道展
- ・その他、館内イベント・歴史講座等の開催
- ・歴史解説員等による館内ギャラリーガイド（毎週土日）
- ・観光ボランティアガイドとの連携事業

(2) 観光案内所管理運営事業（鹿児島市から受託）

市内5か所の観光案内所において観光案内及び観光情報の提供、乗車券等の販売を行い、観光客等の利便性の向上を図る。

- ・鹿児島中央駅総合観光案内所
- ・鹿児島中央駅東口駅前広場観光案内所
- ・観光交流センター
- ・鹿児島市観光案内所（天文館）
- ・桜島観光案内所

(3) 観光ボランティアガイドの活用（鹿児島まち歩き観光ステーション）

- ・鹿児島ぶらりまち歩き事業
- ・県内外のまち歩きガイド参加の利用促進セールス
- ・定点ガイドの実施
- ・鹿児島ぶらりまち歩きにおけるOTAの活用（再掲）
- ・クルーズ船の乗船客への参加促進
- ・西郷プロジェクトに絡めた特別コースの新設【新規】
 - 城山周辺の西郷隆盛ゆかりの地を巡るコース

【法人会計】

6 その他事業

理事会、評議員会、専門委員会等を開催し、事業展開に反映させるとともに、関係団体と連携を図り、円滑な事業運営を行う。